

◎ 地域を応援するマンスリーレター（北海道経済部）

・北海道どさんこプラザ・テスト販売品の募集について

◎ 助成金情報（公益財団法人 北海道地域活動振興協会）

◎ 活動支援情報（花と緑のネットワーク）

< 編集後記 >



【わが村運動情報】

◎ JR北海道車内誌「The JR Hokkaido」8月号の掲載情報

JR北海道車内誌には、「わが村は美しくー北海道」運動コンクールの受賞団体が毎号紹介されています。8月号では第11回コンクールで優秀賞を受賞した「ピロロツーリズム推進協議会」（広尾町）について紹介されています。

JRにご乗車の際は、ぜひご一読ください。

JR北海道HPからJR北海道車内誌（最新号）の電子ブックがご覧いただけます。

（HPトップページ↓の下段より「北海道旅の情報誌 The JR Hokkaido」のバナーを選択）

<https://www.jrhokkaido.co.jp/>

「ピロロツーリズム推進協議会」については、わが村HPでもご紹介しております↓

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/slo5pa0000019pd9-att/slo5pa000001a845.pdf

◎ 広報誌「開発こうほう」8月号の掲載情報

（一財）北海道開発協会が毎月発行している広報誌「開発こうほう」には、「わが村は美しくー北海道」運動コンクールの受賞団体が毎号紹介されています。8月号では第6回コンクールで奨励賞を受賞した「民安ダム「サクラの森づくり」の会」（天塩町）について紹介されています。

広報誌「開発こうほう」は（一財）北海道開発協会のＨＰよりご覧いただけますので、「わが村は美しく－北海道 未来へつなぐ」のページをぜひご一読ください↓

<https://www.hkk.or.jp/kouhou/>

「民安ダム「サクラの森づくり」の会」については、わが村ＨＰでもご紹介しております↓

<http://wagamura-net.jp/contest/06/dantai1/6144.html>

【わが村コラム】

今回ご紹介するのは、旭川市東鷹栖の「JAたいせつ田んぼアート実行委員会」（第１０回コンクール奨励賞受賞団体）の『田んぼアート』です。

『田んぼアート』は、消費者に農業農村に興味や関心を持ってもらうことを目的に２００６年より行っており、今年で１９年目となりますが、毎年３千人程度の方が見学に訪れています。

『田んぼアート』の田植え作業は、例年６月上旬頃に各関係団体や小中学生の協力の下で行っており、今年は６月７日に総勢２８０名により実施しました。当日は天候にも恵まれ、私も関係団体の中



中の一人として参加しましたが、汗ばむほどの陽気のなか、水田に裸足で入るとヒヤッとしてと

ても気持ち良かったのと、作業後に配られたアイスがとってもおいしかったです。

また、現地では葉色がくっきり浮かび上がる６月下旬から見晴台を解放し、見晴台の１階に設置されている「JAたいせつ 農産物直売所」もオープンとなります。



今年の『田んぼアート』のデザインは昨年に引き続き、マツコ・デラックスさんとのコラボデザインで、6色（赤・黄・緑・紫・橙・白）の稲を用いて巨大なアートを表現しており、高さ約8mの見晴台からも全貌を見渡すことができます！



『田んぼアート』の見頃は7月中旬から8月中旬となっており、J Aたいせつの農

産物直売所も8月下旬まで営業（10時～15時）していますので、新鮮な野菜と水田に浮き上がる巨大なマツコ・デラックスさんを楽しみに、是非お越しください！！

【田んぼアート（見頃）】7月中旬～8月中旬ころ

【場 所】旭川市東鷹栖7線18号（※旭川北インターチェンジより車で約10分）

【関係HP等】<http://www.jataisetu.or.jp/tanbo.html>

<https://www.facebook.com/watch/?v=1503899876895458>

【わが村団体活動情報】

◎第38回「ひまわりまつり」開催中！！（北竜町）

<わが村団体名：北竜町ひまわり観光協会>

北竜町の夏の一大イベント「ひまわりまつり」では、23haの広大な畑に200万本のひまわりが咲き誇り、会場はひまわりの鮮やかな黄色で埋めつくされます。

北竜町のひまわり栽培は、昭和54年に旧ユーゴスラビアを訪れた農協職員が「ひまわり畑」の美しさに感動したのがきっかけで、「ひまわり油」が持っている健康食品としての可能性とともに環境美化を兼ねて「一戸1アール運動」の名のもと、農協女性部422戸により、ひまわりを作付けしたのがはじまりです。

開催期間中は、ひまわり迷路をはじめとする
常設イベントのほか、北竜町の特産品である
「ひまわりライス」の販売会など多数の日替わ
りイベントをご用意して皆様のご来場をお待ち
しております。

【開催期間】 7月20日(土)～8月18日(日)

【開催場所】 ひまわりの里

(雨竜郡北竜町字板谷143-2)

【お問合せ】 北竜町ひまわり観光協会

(北竜町役場商工ひまわり観光林務係)

TEL: 0164-34-6790

【関係HP】 <http://hokuryu-kankou.com>



◎「歯舞こんぶ祭り」開催のお知らせ！（根室市）

<わが村団体名：歯舞地区マリンビジョン協議会>

15回目となる「歯舞こんぶ祭り」を今年も開催します。

開催会場では特設ブースでの昆布漁体験をはじめ、子供ビンゴ大会、ステージショーなどのイ
ベントが盛り沢山！歯舞の特産品を素材に使ったメニューを取り揃えた飲食コーナーのほか、各
種昆布製品が購入できる販売コーナーなどもあります。

当日は根室駅前バスターミナルから会場まで無料シャトルバスを運行していますので、みなさ
ん是非、会場へお越しください！

【開催日時】 令和6年8月25日（日）10：00～14：00（雨天決行）

【開催場所】 歯舞漁業協同組合 組合事務所ウラ（根室市歯舞4丁目132番地2）

【お問合せ】 歯舞こんぶ祭り実行委員会（歯舞漁協内）TEL：0153-28-2121



しの際は是非お立ち寄りください。

【開催場所】 倶知安町中小企業センター 1 F ホール（倶知安商工会議所 横）

（虻田郡倶知安町南 2 条西 1 丁目 3 2）

【開催月日】 8 月 2 2 日（木）、9 月 1 9 日（木）、1 1 月 1 4 日（木）

（※ 7 月 1 8 日（木）の開催は終了しました。）

【開催時間】 1 4 : 0 0 ~ 1 5 : 0 0

【お問合せ】 電話 0 1 3 6 - 2 2 - 1 1 4 8（北海道倶知安農業高等学校）

【H P】 <http://www.kucchannougyou.hokkaido-c.ed.jp/>（お知らせ 2024.07.10 参考）



◎“みんなで作って食べよう！カレーライス 子ども料理教室”参加者募集中！！（七飯町）

<わが村団体名：ななえの食を考える会>

『ななえの食を考える会』では、地域食材を活かした料理教室、食に関する講演会、果物収穫体験などの「食」に関する活動を行っています。

今年は子どもたちを対象にした料理教室を3回（夏休み、冬休み、春休みの各1回）開催する予定です。第1回は七飯町のあかり農場の豚肉を使った野菜と果物たっぷりカレーを、函館ナントカ食堂の岡本シェフに教えていただきますので、是非ご参加ください。

◆第1回夏休みポーク編

【日 時】令和6年8月5日（月）10：00～13：00

【会 場】七飯町文化センター 調理室

【お 申 込】E-mail：nanashoku2015@gmail.com（ななえの食を考える会）

※事前申込みが必要です。参加されるお子さまの名前・年齢・居住地・保護者の連絡先・電話番号を明記の上、メールでお申し込みください。

【お問合せ】TEL：090-9754-3612（ななえの食を考える会代表 田中）

※参加費や持ち物、募集状況等はSNS↓などでご確認ください。

【S N S】<https://www.facebook.com/profile.php?id=100057733476518>



みんなで作って食べよう！カレーライス

子ども料理教室

伝えたい！みんなで美味しく食べることが、
楽しく、大切なこと。

いろいろなカレーを、道南在住のシェフに教わっちゃおう！
どんなカレーができるか、お楽しみに！

第1回 夏休みポーク編 8月5日月曜日 10時から13時
会 場 七飯町文化センター 調理室
講 師 函館ナントカ食堂 岡本シェフ
*七飯町の食材で野菜と果物たっぷりカレー キッチンカーで来てくれますよ！

募集中

◎ “『伝統食を学ぶ』梅しごと 梅干し・梅シロップを作しましょう”を開催しました！（七飯町）

<わが村団体名：ななえの食を考える会>

『ななえの食を考える会』では、地域食材を活かした料理教室、食に関する講演会、果物収穫体験など、「食」に関する活動を行っており、6月25日（火）には“『伝統食を学ぶ』梅しごと 梅干し・梅シロップを作しましょう”を開催しました。

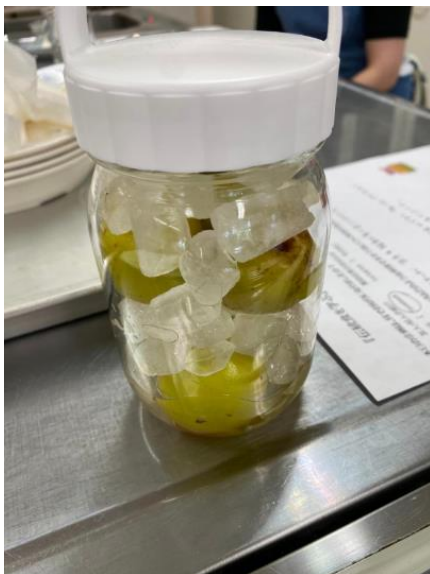
「梅しごと」とは、その年に収穫した梅を使い、梅干しや梅酒などの様々な保存食を作ることを行い、かつては日本各地で当たり前にみられた年中行事の一つでした。

今回は、「梅しごと」に興味をお持ちの皆さんが「梅シロップ」作りに挑戦です。

はじめに梅干しの作り方、梅シロップの作り方について、講師の方からレクチャーを受け、その後、各自が梅シロップを作り



ました。用意された容器の中へ処理した梅と氷砂糖を交互に入れ、お酢をまわしかけます。常温に保ち、氷砂糖が溶けたら完成です。参加者の皆さんからは「梅シロップの作り方が簡単でびっくりした」「梅を買ってまた作ってみたい」という声が聞かれました。その後は事前に仕込んで



あった梅シロップの試飲、梅シロップで作ったゼリーの試食のほか、青梅で作ったジャムと完熟梅で作ったジャムや、昨年漬けた梅と3年前に漬けた梅の食べ比べなども行いました。「暑い夏に食べると元気がでる」と試食もたいへん好評で、和やかなひとときを過ごし終了となりました。

『ななえの食を考える会』では、今年は『伝統食を学ぶ』をテーマに様々な講座を企画していきます。イベントのご案内はFacebook、Instagramで行っていますので是非こちらも

企業との連携

女性の活躍

若者の活躍

関係人口創出

水産業

農泊

在来文化継承

ディスカバー 農山漁村の宝 AWARD

～第11回選定～

**応募は
こちらから**

応募要領書の取組例：農業、林業、畜産業、水産業、加工食品製造、輸出、アグリ・観光事業等
和歌山県、企業との連携、流通、農村文化振興、少子化、地域活性化、施設整備、
伝統的継承、児童養育対策、高齢者生活支援、雇用、移住・定住、復興、環境保全
資源開発、景観保全、教育機関との連携、農産物直売、食育・健康、高齢者の活躍、
女性の活躍、学生・若手育成等。掲載の2024年度は、多岐分野（Aグループ、芸術、
健康長寿等）との連携、関係人口の創出、食料安全保障強化等。

募集期間

令和6年 6月7日金～8月9日金

お問い合わせ先
農林水産省 農村振興局 農村政策部 農村計画課 農村活性化推進室
〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1 電話（直通）：03-3502-8001

過去の認定事例はこちら
<https://www.discovermurakamifarm.com/sentel/select-map.php>

「ディスカバー農山漁村の宝」ホームページ
▶ <https://www.discovermurakamifarm.com>

とらふき

ジメント研究班（中標津町）」が選定されています。

【募集期間】 令和6年6月7日（金）～ 令和6年8月9日（金）

【お問合せ】 農林水産省農村振興局農村政策部農村計画課農村活性化推進室

TEL（代表）：03-3502-8111（内線5449）

ダイヤルイン：03-3502-6001

※応募方法など詳細はこちらよりご確認ください↓

【HP】 <https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/nousei/240607.html>

◎令和6年度「手づくり郷土（ふるさと）賞」を募集中！（北海道開発局）

この賞は、地域づくり活動によって地域の魅力や個性を生み出している良質な社会資本とそれに関わった団体のご努力を国土交通大臣が表彰するものです。

今年度で39回目の開催となる「手づくり郷土（ふるさと）賞」について、只今募集を行っていますので、地域づくりに取り組む活動団体、地方公共団体のみなさまのご応募をお待ちしています。

これまで、「わが村は美しくー北海道」運動で表彰された3団体が「手づくり郷土賞」に選定されています。（H16：黒松内ぶなの森自然学校運営協議会（黒松内町）、H25：NPO法人グラウンドワーク西神楽（旭川市）、R4：特定非営利活動法人 美しい村・鶴居村観光協会（鶴居村））

【募集期間】 令和6年6月10日（月）～ 令和6年8月 9日（金）

詳しくはこちらをご覧ください↓

<https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/release/slo5pa000001eo6g-att/slo5pa000001gqnn.pdf>

【お問合せ】 北海道開発局開発監理部開発調整課（担当：河崎）

TEL 011-709-2311（内線5470）

【活動支援メニュー】

○令和6年度 わが村運動活動助成の実施（2次募集）（NPO法人 わが村は美しく－北海道ネットワーク）

NPO法人わが村は美しく－北海道ネットワークでは、「わが村は美しく－北海道」運動参加団体の活動支援のため、今年度の「わが村運動活動助成」について2次募集を開始しました。

「わが村は美しく－北海道」運動のコンクールに参加実績のある団体のうち、NPO法人の特別会員として入会している団体で、今年度実施予定の活動が助成の対象となります。

活動助成の詳細はHP、又はお問合せによりご確認ください。

「わが村は美しく－北海道」運動は頑張る皆様を応援しています。

令和6年度わが村運動活動助成の実施(2次募集)についてのご案内

当NPO法人は、これまでも微力ながら運動参加団体の活動を支援してきましたが、今年、より一層幅広く地方の活動を支援するため、「わが村運動活動助成」に取り組むこととしてます。詳細は当法人のホームページ上に掲載しておりますが、令和6年度事業実施(2次募集)の助成募集期間を令和6年7月から10月31日迄としています。

今年初めの募集に間に合わなかった構想や、今後の活動の中で本助成事業の対象となる活動がございましたら、ご検討いただければ幸いです。

申請にあたっては、申請書(様式1-1)及び(様式1-2)を上記の期間内に当NPO法人事務局まで郵送、FAX、メールにて送付いただければ受付けます。

なお、本助成事業は当NPO法人の特別会員を対象にしておりますので、申請される場合は、申請書(様式1-2)の「特別会員入会の有無」欄に記入いただきますようお願いいたします。是非この機会に特別会員への入会(無料)をお願いします。

(注)

①「わが村運動申請」の詳細は当法人ホームページの【わが村活動支援】>【活動助成事業】によりダウンロードできます。(右のQRコードからも取得できます。)

② 申請書(様式1-1)及び(様式1-2)は当法人ホームページの【わが村活動支援】>【申請書様式】等によりダウンロードできます。

(右のQRコードからも取得できます。)



申請書提出先 : NPO 法人 わが村は美しく－北海道ネットワーク 事務局
〒060-0807 札幌市北区北7条西6丁目2番地5 NDビル9階
FAX 011-758-7611
E-Mail wagamuranet@minos.ocn.ne.jp
又は E-Mail(2) y_kudoh@kshimotogumi.com (対応はこちらが早いです。)
担当者 : 工藤 郁二、山田 久幸

【申請受付期限】 令和6年10月31日まで

【助 成 額】 1 団体当たり 1 件、10 万円を限度として、選考により予算の範囲内で助成

【お問合せ】 NPO法人 わが村は美しくー北海道ネットワーク事務局（担当者：工藤、山田）

F A X : 0 1 1 - 7 5 8 - 7 6 1 1

Email(1) : wagamuranet@minos.ocn.ne.jp

又は、Email(2) : y_kudoh@kishimotogumi.com ←※対応はこちらが早いです

【H P】 <http://wagamura-net.jp/>

○農山漁村の案内に役立つ「便利帳」（北海道農政部）

北海道農政部では、農山漁村において旅行者を受け入れる地域の活性化に資する取り組みを積極的に推進するため、案内等に当たっての留意点や参考となる情報を紹介する「便利帳」を作成しています。詳細は、北海道農政部HPをご覧ください。

【H P】 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/ski/gt/benricyou.html>

○地域を応援するマンスリーレター（北海道経済部）

北海道経済部にて毎月発行している「地域を応援するマンスリーレター」では地域の皆さんが活用できる支援メニューなどタイムリーな情報をお届けしています。詳細は、北海道経済部HPをご覧ください。

【H P】 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/a0004/b0002/>

・北海道どさんこプラザ・テスト販売品の募集について

どさんこプラザ・テスト販売制度は、販路拡大・商品開発などに取り組む道内企業の方々に応援するための制度で、新商品を3ヶ月間「どさんこプラザ」で販売し、その過程で得られた情報をマーケティング活動に役立てて頂くことを目的としています。

売上が好調な商品はさらに3か月継続して販売し、販売期間終了後には、店から商品の評判や評

価などのアドバイスが受けられるほか、定番商品化へ移行のチャンスもあります。

【募集期間】（テスト販売期間：第3四半期（10月～12月））

令和6年7月1日 ～ 令和6年8月20日

【お問合せ】北海道経済部食関連産業局食産業振興課 マーケティング係

TEL 011-204-5766

【HP】 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/sss/marke/103176.html>

○助成金情報（公益財団法人 北海道地域活動振興協会HP）

公益法人、民間企業などの助成事業等が掲載されていますので、ご参考まで↓

【HP】 <http://www.fureaizaidan.or.jp/SubsidyList.php>

○活動支援情報（花と緑のネットワークHP）

環境保全や地域づくり活動に活用できる助成・支援制度などの情報が掲載されていますので、ご参考まで↓

【HP】 https://www.sapporo-park.or.jp/flowers/support/support_system/

< 編集後記 >

7月某日、千歳市の花茶さんに家族でお邪魔しました。イタリアナポリから購入したという石窯で焼き上げられたサクサク、もちりのおいしいピッツァと自家製カツカレーをいただきました。外にはポニーが2頭いて、夏らしい日差しの中、干し草を食んでいる姿に、心もお腹も満たされました。その帰り道に偶然、車中から数羽のタンチョウを発見してびっくり！道東にしかないと思っていたタンチョウがなぜここ（道央）に・・・。

帰宅後、ネット検索してみると長沼町では「タンチョウも住めるまちづくり」に取り組んでい

るそうです。町のホームページには「タンチョウ博士のお話」にも掲載されていますが、タンチョウが体を立て、首を伸ばしている姿勢は強い警戒心を持っているとき。くれぐれも珍しいからといって近づかないようにしましょう。

夏休みは、冷房のきいた室内で過ごすのも良いですが、外へドライブに出かけてみてはいかがでしょうか。思わぬ発見があるかもしれません。

発行：北海道開発局農業水産部農業振興課

〒060-8511 札幌市北区北8条西2丁目 札幌第1合同庁舎13階

↓わが村HPはこちらをご覧ください。

https://www.hkd.mlitt.go.jp/ky/ns/nou_sin/ud49g7000000emhm.html

↓Facebookでも情報配信しています。

<https://www.facebook.com/wagamura>

お知り合いの方にも、ご紹介お願いします！

本メールマガジンは送信専用アドレスで配信しています。

配信希望・ご意見・ご感想はこちら hkd-ky-wagamura.u@gxb.mlitt.go.jp

※一部ホームページではInternet Explorerに対応していないものがありますので、Microsoft Edge等を使用して接続してください。
